

●□  
**日産合成工業株式会社 メールマガジン**  
**2015・12・01 第108号**



科学万博記念公園（かがくばんぱくきねんこうえん）は、1985年（昭和60年）に開催された国際科学技術博覧会（科学万博）の跡地に作られた都市公園（近隣公園）です。現在では万博当時を思わせるものはほとんど残っていませんが、万博閉幕後に建てられた「科学の門」の地面には万博当時の会場図が描かれていますし、科学万博の象徴でもあった岡本太郎制作の像は、2005年（平成17年）の首都圏新都市鉄道 つくばエクスプレス開業に伴い、万博記念公園駅前に移設されていますのでわずかながら当時を思い出させてくれます。

桜の名所にもなっていますが、この公園は広場の多い公園で、大きな芝生の広場があります。天気の良い午後には大勢の家族連れでにぎわっています。特に若い家族が多いようです。

みんなで使う広場ですので、通常は球技禁止になるはずですが、ここはその制約はありません。しかし、キャッチボールをする親子はまれで、多くはサッカーかバドミントン、あるいは凧揚げです。ご時世かもしれません。

跡地のその他の部分は筑波西部工業団地として、民間の研究所等が集まっています。したがってこの公園は研究所群の中のオアシス的な存在でもあります。たいへん静かです。

ここには、小さいながら銀杏並木があります。規模や樹勢や賑わいは例えば明治神宮外苑の銀杏並木のような有名公園には遠く及びませんが、並木のすぐそばに駐車場があり、設置されてい



るベンチには今では多くの公園で幻となった灰皿がついています。灰皿はいつもきれいです。これは、よく掃除されていることとたばこを吸う人が少なくなっているためと思われます。銀杏並木を含めて一周約1.5km散歩道を2周ほどし、持参したスポーツドリンクを飲み、一服するたばこはたいへん美味です。筆者の楽しみの一つです。

さて、本年最後のニッサンメールマガジンをお届けします。第108号です。

**シンポジウム等**

本年10月5日(米国アトランタ時間)のTPP閣僚会合において、TPP協定が大筋合意されました。今後わが国の畜産に限らず農業に関して大きな影響が出ることは明らかです。このため、競争力の向上に向けた、研究会、シンポジウム等が目白押しに開催されています。このうち弊社に関係するもののうち、これから開催されるものをピックアップしてみました。参加申し込みが過ぎて

いるものや一部開催済みのものもありかすが、事務局に依頼すれば資料の入手も可能ですし、事前申し込みをしていなくても当日受付をしてもらえる可能性もあります。

#### 農研機構 近中四農研セミナー

##### 「水田里山の畜産利用と土作りを基礎にした中山間地域営農発展の可能性と研究課題」

農研機構近畿中国四国農業研究センターでは、先進的経営者の方々に講演者に招き、中山間地域において、担い手が確保できる高付加価値型の農業の発展を目指して、研究セミナーを開催します。

日 時：12月7日(月曜日) 13時～17時

場 所：岡山国際交流センター(岡山県岡山市)

参加費：無料

定 員：100名(先着順)

事前申込締切：11月19日(木曜日)

[農研機構 近畿中国四国農業研究センター]

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2015/10/060327.html>

#### 平成27年度 農研機構シンポジウム

##### 「自給飼料低コスト生産と新機能活用に向けた新展開」

農研機構などが開発した自給飼料低コスト生産と新機能活用に関わる技術とその利用を紹介し、普及に取り組むために農研機構シンポジウムが開催されます。

日 時：12月7日(月曜日) 10時30分～16時55分

12月8日(火曜日) 9時～12時15分

場 所：発明会館(東京都港区)

参加費：無料

定 員：250名(先着順)

事前申込締切：11月20日(金曜日)

[農研機構 畜産草地研究所]

<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2015/10/060177.html>

#### 内閣府 SIP 公開シンポジウム「農業生産支援の最前線」

内閣府 SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)「高品質・省力化を同時に達成するシステム」では、土地利用型農業における「農業生産の大規模化」「農産物の品質・収量維持」「低投入による環境負荷低減と生産コストの削減」を同時に達成する新たな技術開発を進めています。

本シンポジウムは、これまでの取り組み・成果をわかりやすくご紹介するとともに、研究者、農業者、民間企業、普及関係者、行政担当者が一堂に会し、相互連携を深めることを目的として開催します。

日 時：12月14日(月曜日)13時～17時30分

場 所：ヤクルトホール(東京都港区)

参加費：無料

定 員：500名(先着順)

事前申込締切：12月4日(金曜日)

[SIP 高品質・省力化の同時達成システムシンポジウム事務局]  
<http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2015/11/060349.html>

### 酪農・豆知識第 103 号の概要および URL

乳用子牛では古くから、肉用子牛でも最近の超早期母子分離方式が確立しています。さらに最近では乳用牛を借り腹にした受精卵移植による和牛生産技術の確立、乳用牛への黒毛和種の授精の増加等に伴って、子牛を生後早期に母親から離す飼育方式が増加しています。この飼育方式は搾乳作業の効率化、分娩後の早期発情回帰、子牛の健康管理に目が行き届くなど多くのメリットがあります。

しかし、一般にヒトを含めた哺乳類では生後間もない時期に母親の世話を受けないことは、大きなデメリットをもたらすことが多くの研究で明らかになっています。成長が遅れたり、成長してから社会適応がうまくいかなかったり、ストレスを感じやすい性質になってしまうなどの報告があります。

そこで子牛を生後早期に母親から離す飼育方式のこれらの欠点の影響を和らげる最近の成果について、特に最近開発された「疑似グルーミング装置」について「酪農・豆知識」第 103 号にまとめてあります。

「酪農・豆知識」は、当社のウェブサイトのトップページにある「技術情報」をクリックし、「酪農・豆知識」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

---

## お知らせ

### 印刷用の PDF ファイル

今回より印刷用のPDFファイルを添付しました。PDFファイルをご利用いただくためには、AdobeReaderが必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

### メールマガジンへの登録・質問等

メールマガジンの配信の停止、登録内容の変更等は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

### アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしく願いします。

また、今後の配信が不要な場合にも[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。